

めがね

小林聡美

市川実日子

加瀬亮

光石研

もたいまさこ



薬師丸ひろ子

「めがね」の友たち

脚本・監督：萩上直子（かもめ食堂）

エンディングテーマ：大貫妙子

「めがね」オリジナルサウンドトラック（VAP）

製作：日本テレビ バップ シャシャ・コーポレーション

巴拉ダイス・カフェ 日活

企画：羅澤花子

プロデューサー：小室秀一 木嶋久美 太田恵美 前川えんま

ラインプロデューサー：関友彦

アシスタントプロデューサー：武藤敦子

撮影：谷峰登 照明：武藤要一 録音：林大輔

編集：鶴崎信一 美術：富田真友美 スタylist：堀越真衣

フィードバックリスト：坂島奈美 ヘアメイク：宮崎智子

音楽：金子隆博 音楽プロデューサー：丹後樹

編み物：タカモリトモコ

メルシー体操：伊藤千枝（珍しいキノコ舞踊団）

写真：高橋ヨリコ

配給：日活 支援：文化庁

©めがね商会

www.megane-movie.com

何が自由か、知っている。





めがね



2006年に公開され、熱い反響を呼んだ『かもめ食堂』のスタッフとスタッフがふたたび集い、今度は南の海辺を舞台に、あらたな物語を生み出しました。

全員、めがねをかけている――。

今度は5人で、南の海辺。
『かもめ食堂』のスタッフとキャストによる、
一瞬のようで永遠のような、
たそがれどきの物語。



登場人物は、3人の女と2人の男（と犬1匹）。主人公である旅人・タエゴを演じる小林聡美は、『かもめ食堂』で見た清涼なたたずまいをそのままに、人生の一瞬にふと立ち止まる等身大の女性をきめ細やかに造形します。彼女を待ち受ける、いわくありげな宿の主人・ユージには、数々の映画やドラマで活躍する実力派俳優・光石研。その宿にたびたび出没する若い女・ハルナに、同世代の女性たちを中心に圧倒的な支持を得る市川実日子。また、タエゴを追ってやってくる青年・ヨモギを、映画『それでもボクはやってない』などで今もっとも注目を集める加瀬亮が演じます。そして、宿の人々からそこはかとない信頼を寄せられる謎の常連客・サクラ役のモたいまさこが、不敵かつおおらかな存在感で物語を包み込みます。

何が自由か、知っている。

監督・脚本は、前作に引き続き荻上直子。抑制の効いた描写の中に豊かなドラマ性を思わせる作風は、本作でも健在です。さらに、透明感あふれる日差しのもと繰り広げられる、生命力を呼び覚ますおいしい食事や心地よい暮らしの風景、凛と胸に響く音楽が、スクリーンから観る人の五感のすみずみに届きます。

行く先が見えなくなったら、なんとなく世界とピントが合わなくなったと感じたら、それがあなたのたそがれとき。まっすぐに歩いていけば、いつか必ずたどり着く。手ぶらで旅に出るように、ふらりと映画館を訪れたくなる、『めがね』はそんな映画です。

www.megane-movie.com

9/22(土)~全国ロードショー 特別鑑賞券 絶賛発売中

一般 ¥1,500 / ペア ¥2,800 【当日一般 ¥1,800 (税込) のところ】

劇場窓口にてお買求めの方に限り、先着で桜沢エリカのイラスト入り“木製マグネット”をプレゼント。

JR新宿駅南口徒歩2分 タカシマヤタイムズスクエア12F

銀座線京橋駅2番出口 有楽町線都立一丁目駅7番出口

通 玄坂サ・プライム6F

テアトル タイムスクエア

銀座座 テアトルシネマ

シネセゾン 渋谷

03-5361-1937 全席指定 (初回を除く)

03-3535-6000

全席指定

03-3770-1721 全席指定 (初回を除く)